

LS四国 新規会員募集中!

すべて会費無料で! できます。

情報収集・共有・発信ができます!

・補助金、SDGs・地方創生等の取組の情報を収集・共有・発信できます。

マッチング・仲間づくりができます!

・課題解決、取組促進にあたり、シーズを持った方と出会いの場を持てます。

・分科会活動と一緒に取り組む仲間ができます。

会員登録は、右のQRコード・下記リンクから!

https://ls459.net/?page_id=51

※または「入会申込書」に必要事項を記載の上、

LS四国事務局 info@ls459.net までご提出ください。



現在の会員数 176!

2023.3.20 時点(個人会員含む)

企業・金融機関・その他関連団体

徳島 14 香川 39 愛媛 24 高知 16 四国外 4

市民団体・NGO/NPO・その他団体

徳島 5 香川 10 愛媛 11 高知 6 四国外 1

自治体・政府関係機関・公益法人等

徳島 6 香川 7 愛媛 17 高知 8

大学・研究機関・教育関連機関

徳島 1 香川 1 愛媛 1 高知 1



ローカルSDGs四国



いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

LS四国ニュースレター Vol.04
(2023年3月発行)

<LS四国ロゴについて>

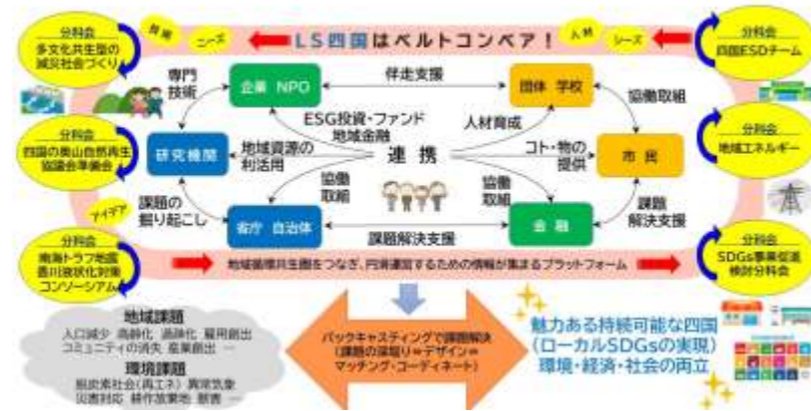
四国各県の特徴を表す色でローカルSDGs四国のロゴを囲み、循環する様子を表現しています。

徳島: 藍 / 香川: オリーブ / 愛媛: 柑橘 / 高知: 太平洋

LS四国とは? [2021年2月設立]

一言でいうと「**四国でローカルSDGs(地域循環共生圏)に資する取組を生み出し、創造していくプラットフォーム!**」

ローカルSDGs(地域循環共生圏)とは、各地域が地域資源(自然資源・経済資源・人的資源等)を再認識し、それを持続可能な形で最大限活用するとともに、近隣地域と資源を補完し合いながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す、という地域づくりの考え方。



ローカルSDGsビジネスとは...

- ① 地域資源を活用し、地域内または地域間で補完し、支え合いの関係が構築できている
- ② 地域内で資源(ヒト・モノ・カネ・コト)が循環している(地域外からの流入を含む)
- ③ 環境を含む地域の課題解決につながる

ビジョン

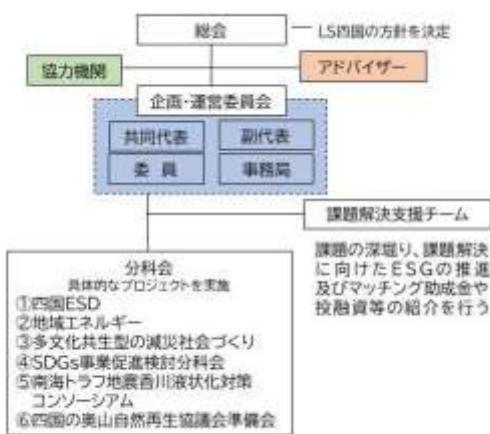
いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

自然資源の恵み・つながりを活かし、伝え、地域・社会がそれぞれの特性を発揮しながら、連携して支え合い、SDGsの目指す環境・経済・社会の調和を図りながら持続発展する、活力あふれる四国地域の創造を目指します。

行動指針

- 1) ローカルSDGsの考え方を実践する場づくりを進めます。
- 2) ローカルSDGsの視点をもった創り手の発掘、育成を進めます。
※科学的根拠に基づいた調査研究、知見を活用。
- 3) イノベーションの導入やESGの視点を取り入れたビジネスの創出及び地域経済循環の向上を目指します。
- 4) 自然と人が共生する循環型社会を構築し、脱炭素化へのパラダイムシフトを進めます。

組織・運営体制



<p>■役員</p> <p>◆共同代表 近森 憲助 (鳴門教育大学名誉教授) 常富 豊 (中国四国地方環境事務所四国事務所長)</p> <p>◆副代表 島田 治男 (香川県中小企業家同友会副代表理事) 山村 直史 (独)国際協力機構四国センター所長)</p> <p>◆委員 谷川 徹 (四国生物多様性ネットワーク事務局) 笠井 善子 (株)reクラレ代表取締役、 (特非)徳島の女性を元気にする会理事長 徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課長 香川県環境森林部環境政策課長 愛媛県民環境部環境局環境政策課長 高知県林業振興・環境部環境計画推進課長</p> <p>■事務局 中国四国地方環境事務所四国事務所 四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)</p>	<p>■協力機関</p> <p>消費者庁新未来創造戦略本部 四国総合通信局 四国財務局 中国四国農政局 林野庁四国森林管理局 四国経済産業局 国土交通省四国地方整備局 四国運輸局 株式会社日本政策金融公庫 株式会社日本政策投資銀行四国支店 国立大学法人徳島大学 国立大学法人鳴門教育大学 国立大学法人香川大学 国立大学法人愛媛大学 国立大学法人高知大学</p> <p>■アドバイザー</p> <p>村上 周三氏 (一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長) 川久保 俊氏 (法政大学デザイン工学部建築学科教授) 森沢 伊智郎氏 (株式会社野村総合研究所)</p>
--	---

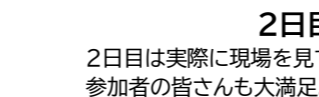
TOPICS LINE [2022年度下半期]

- 団体会員172団体、個人会員4名となりました。(2023年3月20日現在)
- 四国 森里川海推進ネットワーク形成会議を徳島県那賀町で開催しました。(2022年11月18、19日)
- 第2回ローカルSDGs四国表彰式を会場とオンラインで同時開催し、受賞団体を表彰しました。(2023年2月22日)
- 分科会「四国の奥山自然再生協議会準備会」が2月に立ち上がりました。

○ 四国 森里川海推進ネットワーク形成会議 「生物多様性保全の新たな展開を探る! 新しい保全地域・OECMとは」



1日目
久しぶりの現地開催となり、意見交換会も活発に行われました!



2日目
2日目は実際に現場を見て、参加者の皆さんも大満足。

2030年までに陸と海の30%以上を保全する「30by30目標」が国際的に掲げられ、健全な生態系を確保し、その恵みを地域の社会課題の解決に活かすことが模索されています。そして、その実現のために新しい保全地域・OECMの仕組みづくりが始まっています。企業、団体・個人、自治体による様々な取組によって、本来の目的に関わらず生物多様性の保全が図られている地域が対象と想定されるものです。持続可能な地域づくりを見据え、地域におけるOECMのあり方を考える勉強会と情報交換会を2日間に渡って開催しました。

I 生物多様性保全推進に向けた新たな戦略を考える

会場: もみじ川温泉(徳島県那賀郡那賀町)
・30by30目標の達成に向けた、新たな認定制度「自然共生エリア」(OECM)について
・基調講演「新たな保全地域OECMとは?地域にOECMを創出するために」
・四国の森里川海の現場から、生物多様性保全に資する取組の報告
森: 徳島 「橋本林業の施業による森林環境調査報告」
里: 高知 「農地の生物多様性保全と有機農業の優位性について」
川(ため池): 愛媛 「ため池管理によって保全される里地の生物多様性」
海: 香川 「人材育成から展開する『かがわの里海づくり』」

II 橋本山林 現地見学

会場: 橋本林業
プログラムと資料はこちら!
(徳島県那賀郡那賀町) <https://ls459.net/?p=3586>

○ 第2回 ローカルSDGs四国表彰



受賞団体 基調講演の様子。 大賞受賞の長浜高校。 展示コーナー。

「魅力ある持続可能な四国づくり」につながる優れた取組に対し、表彰を行いました。また、表彰式は基調講演をはじめ、受賞団体より熱い思いを事例発表を通して伝えてもらいました。受賞された皆さまは以下のとおりです。

- ・ローカルSDGs四国大賞/ユース部門賞
「長高水族館」愛媛県立長浜高等学校(愛媛県)
- ・地域課題解決部門賞
「木や森林を活用した林業6次産業化事業」株式会社那賀ウッド(徳島県)
- ・チャレンジ部門賞
「瀬戸内海のマイクロプラスチック汚染調査とその対策に向けた研究」愛媛大学附属高等学校 理科部 プラガールズ(愛媛県)
- ・審査委員特別賞
「SDGsを通して持続可能な世の中を次世代に繋げていく社会作り」株式会社パブリック(香川県)
「ブナの森づくりプロジェクト」特定非営利活動法人由良野の森(愛媛県)

第3回LS四国表彰は2023年度に開催!
募集要項が決まり次第お知らせします。

当日資料はこちら! <https://ls459.net/?p=4198>



ローカルSDGs四国(LS四国)事務局

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課 Tel.087-811-7240
四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO) Tel.087-816-2232

ホームページ: <https://ls459.net/>
メールアドレス: info@ls459.net



ローカルSDGsの実行役として、自立型で運営し、テーマに沿ってさまざまなプロジェクトを実施します。分科会の立ち上げを希望される会員の方は、分科会登録申請書を事務局までご提出ください。各分科会にご関心がある方は、事務局までご連絡ください。

分科会 01 四国ESDチーム

分科会ページでアーカイブ配信中！QRコードをチェック！

四国ESDバーチャル大学開催！

今年度は「〇〇×気候変動教育」をテーマに実施。勉強会に加え、五感を使って体験できる実践の場の提供も行いました。

◆ESD・SDGsツアー×気候変動教育

- 第1回 10月21日(金) 「ツアー企画を考えよう!!」
- 第2回 11月25日(金) 「ツアーの商品化を進めよう!!」

◆暮らしは断熱でどう変わる？！
ワークショップで実践！

2月25日(土) 勉強会&ワークショップ ワークショップの様子。



四国ESDフォーラム2023開催！

四国地域におけるESD実践事例の紹介意見交換などを通して、四国の持続可能な地域づくりについて考える機会となりました。

2月12日(日) 10:30~16:00
あかがねミュージアム(愛媛県新居浜市) またはオンライン



新居浜市の歴代教育長と市長によるリレートーク。

【午前】新居浜ESD for SDGsリレートーク
【午後】四国ユースESD×地域ESD拠点交流会

四国ESDチーム <https://ls459.net/?page.id=456>



事務局 四国地方ESD活動支援センター
〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目1-1高松第一生命ビル新館3F
Tel.087-823-7181 FAX 087-823-5675
【E-mail】 info@shikoku-esdcenter.jp
【HP・SNS】 <https://shikoku.esdcenter.jp/>

分科会 03 多文化共生型の減災社会づくり分科会

独立行政法人国際協力機構(JICA)「NGO等提案型プログラム」として、四国内の自治体と連携して、同自治体で想定される災害や、地域の在住外国人の状況などに合わせた「防災・減災セミナー」を実施しています。高知県黒潮町の開催では、大方高校の生徒が在住外国人向けワークショップを企画し、交流を深めながら防災・減災について学びました。防災・減災の学びを通じた多文化共生社会の実現に向けてさまざまなネットワークの構築を目指しています。



黒潮町ワークショップ。

黒潮町佐賀地区避難タワー現地視察。

分科会 02 地域エネルギー分科会

【概要】愛媛県中小企業家同友会の環境経営委員会メンバーを中心に設立。四国4県同友会の「四国連携環境を考える会」として四国内に再生可能エネルギーを広め、地域内の経済循環を生み出すことを目指しています。

【現在の進捗状況—2022年9月以降】

昨今の世界情勢によりパワコン不足や太陽光パネル等の資材高騰、新電力の破綻撤退など再エネをめぐる状況の激変をうけ、分科会活動は休止状態ですが、各取組の現状をお伝えします。

- ①今治乃万営農型発電所—発電は順調。しかし、パネル下の飼料米の収量が減り、米以外の作物への転用要検討。
- ②宇和島御小水力発電所(予定)—四電への系統契約済も、事業体のリーダー未決定。
- ③内子龍王バイオマス発電所—内子第2発電所として10月13日稼働。近隣の2施設へ熱供給(電気330kW/熱520kW)。急激な物価高が経営を圧迫。森林環境税の活用や銀行返済期間の延長など対策中。



内子龍王バイオマス発電所開所式。



内子龍王バイオマス発電所外観。

地域エネルギー分科会 <https://ls459.net/?page.id=464>

事務局 株式会社平野
〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町2丁目2-22
【E-mail】 e-doi@hirano-pharmacy.co.jp
【HP・SNS】 <https://www.hirano-pharmacy.co.jp/>

【研修・ワークショップ開催状況】
愛媛県西条市 研修:2021年8月8日、9月18日 実施
ワークショップ:2023年度 予定
徳島県海陽町 研修:2022年1月22日、6月18日 実施
ワークショップ:2022年7月3日 実施
ネットワーク形成会議 オンライン研修:
2022年12月8日 実施
高知県黒潮町 研修:2023年1月7-8日 実施
ワークショップ:2023年2月5日 実施
香川県小豆島町 研修・ワークショップ:
2023年4月以降 予定
多文化共生型の減災社会づくり分科会
<https://ls459.net/?page.id=853>

事務局 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
〒790-0803 愛媛県松山市東雲町5-6
Tel.089-993-6271 FAX 089-993-6227
【E-mail】 wakuwaku@egn.or.jp
【HP・SNS】 <https://www.egn.or.jp/>

LS四国kintone 会員等同士でのコミュニティづくり、情報収集・共有・発信するためのオンラインプラットフォーム！



- 一緒に取組を行う仲間づくり
- 多様なステークホルダーとの対話
- 官公庁等へのお悩み相談
- 自社の取組紹介、イベント広報
- 官公庁の助成制度などの情報収集
- SDGsやESG等に関する情報収集 など

「kintone」はサイボウズ社の登録商標です。

LS四国会員のみ利用できます。(2021年9月より運用開始)

分科会 04 SDGs事業促進検討分科会

2022年4月に設立。愛媛県に本支店のある金融機関が協働して、定量的な評価基準の考え方を整理し、どの金融機関も同じ目線でSDGsへの取組を評価できるスキームを検討しています。

今年度は環境省のESG金融促進事業を活用し、地元企業による地方創生SDGsに向けた取組を把握・支援するための「共通のものさし」および「ヒアリングシート」のプロトタイプを作成しました。

今後は自治体やSDGs推進協議会等とも連携しながら、内容をブラッシュアップさせていただきます。

実施の流れ	実施のポイント(論点)	実施の流れ	実施のポイント(論点)
共通のものさし(定量的評価基準)の策定	✓ 地域事業者にとってのわかりやすさ	地域事業者・自治体へのヒアリング	✓ 共通のものさしの活用可能性・ニーズについて調査
	✓ 評価基準の汎用性		✓ 共通のものさしを入り口とした支援策の検討
自治体のSDGs推進・登録・認証制度を活用した効果的な活用方法	✓ 地域特性・地域課題の考慮	支援策の検討	✓ 共通のものさしを入り口とした支援策の検討

活動詳細ページ:環境省 ESG金融促進事業「ESG地域金融実践ガイド2.2」
https://www.env.go.jp/press/press_01375.html

SDGs事業促進検討分科会
<https://ls459.net/?page.id=2596>



事務局 愛媛銀行企画広報部
〒790-8580 愛媛県松山市勝山町2-1 Tel.089-933-1111
【E-mail】 sdgs.esg@himegin.co.jp
【HP・SNS】 <https://www.himegin.co.jp/>

分科会 06 四国の奥山自然再生協議会準備会



放置林に林冠ギャップを作る。



障害のある方たちとの育苗。



林業家の協力で防鹿柵作り。



フリースクールの子どもたちと原生林から種子採取。

四国の奥山再生をボトムアップで進めるためのセミナーを年に数回行い、賛同する団体や個人と繋がり、森づくりに必要なノウハウを希望する団体や個人に共有していきたいと考えています。

分科会の中では、どんな自然環境を未来の子供たちにプレゼントしたいのか、そのためには自分たちがどのように現在(いま)を生きていくのかなども世代を超えたディスカッションができる機会を設けていきます。

本会での活動をもとに参画する人々によって、「奥山再生」のノウハウが共有され、四国内で森づくりの活動が自発的に行われていき、「自然再生推進法」のもとで50年後の社会構造や環境をイメージした自然再生協議会を立ち上げるための仕組みづくりを行っていきます。

四国の奥山自然再生協議会準備会
<https://ls459.net/?page.id=4358>

事務局 特定非営利活動法人由良野の森
〒791-1222 愛媛県上浮穴郡久万高原町二名乙787-13
Tel. 0892-50-1977
【E-mail】 yuranonomori@gmail.com

LS四国会員の皆様のSDGs等の取組を発信します！

LS 四国会員情報ページに順次掲載します！
<https://ls459.net/?page.id=506>

2022年10月より、LS四国会員の皆様のSDGsや地域と連携した取組について、LS四国ホームページでの発信を開始しました。(右図フォーマット参照)。「自社のSDGsの取組を紹介したい」「他の会員のSDGsの取組を知りたい」「他の会員とつながるきっかけがほしい」「SDGsの取組事例を勉強したい」...などのご希望がある方は是非ご活用ください！

